

火薬類の保安

平成28年3月29日
関東東北産業保安監督部
東北支部保安課

平成27年火薬類事故(東北管内分)の発生状況について

平成27年に東北管内において火薬類取締法施行規則第82条第1項の規定に該当する詳報対象の事故が9件発生しました。

事故を種類別に見ると、産業火薬が2件、煙火が7件となっており、その概要は次表のとおりです。

■東北管内の事故情報

○平成27年火薬類事故の概要(東北管内分)

	発生日時	発生場所	種類	死	傷	事故概要
1	1月14日 19:30頃	宮城県 登米市	煙火	0	0	花火大会において、煙火消費中に黒玉が2個、発生した。(14日、15日にそれぞれ黒玉1個ずつを回収。)
2	4月9日 16:20頃	秋田県 大館市	産業火薬	0	1	採石場において、作業員が発破による飛び石にあたり負傷(打撲)した。負傷者は、警戒のため、発破箇所から約190m離れた退避場所で、点火5分前のサイレンを鳴らした後、点火に備えて鋼製受水槽の陰に退避していたが、起砕状況を確認しようとして退避場所から離れたところ、地面に当たって跳ね返った飛石(10cmX5cm)が腰部に当たり負傷した。また、付近に退避させていたバグホーも、側面扉が変形し、フロント及び扉ガラスが破損した。
3	4月28日 12:15頃	岩手県 陸前高田市	産業火薬	0	0	岩盤掘削における盤下げ発破作業を行った際、岩石1個(約10cm X 5cm)が約100m離れた民家の屋根に飛散し、瓦2枚を破損した。
4	5月2日 8:20頃	青森県 弘前市	煙火	0	1	高校の陸上部の部屋に保管していた競技用紙雷管を入れた容器を持ち出し、日当たりの良い場所に置いていたものを、10分後、陸上競技部員1名が、確認のため容器を開けたところ中に入っていた約100粒が爆発し、負傷(軽い火傷)した。
5	5月30日 20:12頃	福島県 福島市	煙火	0	0	花火大会において、煙火の火の粉が河川敷下草に引火・延焼し、約1,800m ² を焼損した。
6	7月25日 19:30頃	宮城県 川崎町	煙火	0	1	花火大会において、煙火消費中に開発後の残滓が保安距離外へ飛来し、観客男性の左目にあたり角膜を損傷した。
7	7月26日 20:35頃	宮城県 登米市	煙火	0	0	花火大会において、煙火消費中に黒玉が1個発生した。
8	8月1日 20:00頃	福島県 いわき市	煙火	0	0	花火大会において、打ち上げられた煙火が上空で開発せず、海に落下後、水中で開発した。
9	8月2日 20:00頃	宮城県 大崎市	煙火	0	1	花火大会において、観覧中の男児(7歳)の左目に花火の残渣らしきものが入り、違和感を訴えた。

注)「死」は死亡事故、「傷」は重傷、軽傷の人数。